

日本神経精神薬理学会

第50回理事会（2011年度）議事録

日 時：2011年10月26日（水）13:30～16:00

場 所：京王プラザホテル 42階 「津久井」

（〒160-8330 新宿区西新宿2-2-1 TEL：03-3344-0111/FAX：03-3345-8269）

出席者：山脇成人（理事長）、池田和隆、石郷岡純、大熊誠太郎、大森哲郎、神庭重信

鈴木 勉（会長）、曾良一郎、仲田義啓、西川 徹、野村総一郎、南 雅文

山田清文 各理事

加藤進昌、馬場明道 各監事

齋藤利和、米田幸雄 各アドバイザー

欠席者（委任状）：荻田喜代一、中村 純、山本経之 各理事

記 録：中川庸幸（事務局：学会支援機構）

冒頭に山脇成人理事長から前回（第49回）理事会議事録（案）および持ち回り理事会議決事項一覧が提出され、異議なく承認された。

I. 報告事項

1. 第41回年会（第21回日本臨床精神神経薬理学会と合同開催）準備状況報告について

鈴木 勉会長から本年会開催に関する概要が報告され、開催にあたり関係各位に謝辞が述べられた。

2. 第40回年会（第20回日本臨床精神神経薬理学会と合同開催）収支報告について

曾良一郎前会長から会計収支を含めた開催報告がなされた。なお、収支差額分の取り扱いについては、両学会で折半し経理処理されること、本余剰金については、先の東日本大震災対策費用へ充当していることが併せて報告された。

3. 各委員会報告

a. 総務委員会（池田理事）

1) 以下の通り会員報告（2011年6月1日から2011年9月30日）がなされた。

会員数：1,238名（2011年9月30日現在）

内 訳：名誉会員 22名、評議員 179名、正会員 953名、学生会員 65名
賛助会員 19社

新入会： 62名

退 会：本人申出 8名

逝 去 3名

物 故 者 名誉会員 小林 司 先生 2010年9月27日 ご逝去

名誉会員 田所作太郎先生 2011年9月25日 ご逝去

一般会員 宮本 賀之先生 2011年6月26日 ご逝去

2) 2011年名簿調査と統合問題に関するアンケートについて

本年7月に全会員を対象とした名簿調査票を発送した。今回の名簿調査では、新たに設定した専門分野の調査およびE-mail登録の促進を行った。

また、日本神経精神薬理学会全体アンケートとして、日本臨床精神神経薬理学会（CNP）との統合問題についての是非について、アンケート調査を行った。

全体アンケート調査結果（2011年10月14日現在）

	賛成	反対	未回答	未返信	合計
一般会員	418	40	31	449	938
学生会員	38	1	0	16	53
評議員	118	14	7	40	179
名誉会員	14	1	2	5	22
合計	586	56	40	510	1192

上記の回答と併せて、以下5件のご意見がありました。

- ① 賛成…学会名による。
- ② 賛成…基礎的な研究を知る場としてはとても有意義と思う。
- ③ 賛成…年会費が上がるかどうかは不安。
- ④ 反対…現状の様に合同年会を希望します。
- ⑤ 反対…治験メインの学会は学問研究でブレが生じる

b. 広報委員会（池田理事）

資料に基づき、リニューアルされた本学会ホームページが提示された。今後は、前回理事会で承認された委員会の方針に基づき、充実化を図っていく。

c. 編集委員会（南理事）

雑誌刊行状況、依頼状況、査読状況につき以下の報告がなされた。

1. 刊行状況，依頼状況，査読状況

1) 刊行状況

30巻（2010年）：総説21，MR7，原著1を掲載。

31巻（2011年）：総説20，MR6，原著3，短報1を掲載（予定含む）。

2) 依頼状況

依頼論文で今年ご寄稿いただいた原稿は20編である。

（うち学会シンポジウム19編，脳の医学・生物学会のミニレビューは除く）

3) 投稿状況

2010年の投稿は原著3編（うち英文1）である。

2011年の投稿は総説2（うち英文1），原著1（英文），短報1，ミニレビュー2の計5編である。

2. 執筆依頼・企画

今年は編集委員による総説の執筆を2編お願いした。

また例年どおり，2011年の学会シンポジウムの中から原稿を依頼する予定である。

3. 追悼文のあり方について

今後、名誉会員が逝去された場合には、学会誌へ追悼文を掲載することとした。

1) 追悼文フォーマット…お写真・略歴・追悼文のフォーマットとする。

2) 追悼文執筆の対象…名誉会員および現職役員の逝去とする。

3) ご逝去された名誉会員の日本神経精神薬理学雑誌におけるお名前の掲載…お名前を削除する形とする。

4) 追悼文執筆者の選定…理事長、総務理事、編集理事で協議する。

なお、お写真やご略歴については、推戴時に新名誉会員紹介とのコラムを設け、資料を整えていくこととなった。

d. 財務委員会（大熊理事）

2011年9月30日現在の会計中間報告がなされた。なお、神経精神薬理振興基金において、1,000万円を超える定期預金分については、次回の満期時に分割管理することとなった。

e. 国際学術委員会（大森理事）

同委員会は内外の学術交流担当委員会となる。国内については、10月26-27日にお台場にて日本精神神経学会が開催されており、関連学会報告のセッションが設けられている。本会からは広報委員会委員の橋本亮太先生（大阪大学）へ発表を依頼したことが報告された。

f. 学術賞選考委員会（山田理事）

1. 2011年度学術賞受賞者の選考

対象論文は1編であった。同論文は選考対象論文資格を満たしていることを確認し、各選考委員による一次審査を郵送で行った。

各委員からのコメント、採点結果を基に慎重に審議を行った結果、同論文は学術賞の推薦には至っていないとの結論に達し、2011年度の学術賞は該当なしとして理事会へ報告がなされた。

2. JSNP Excellent Presentation Award for AsCNP 2011 授賞者報告

以下の20名を授賞者として選考し、AsCNP2011のJapan Night会場にて表彰式を行った。また、受賞者への副賞の授与を進めていることが報告された。

No.	演者名	所属	演題名
1	島上 洋	東京大学 薬品作用学	Chronic corticosterone induces affective behaviors and dendritic hypertrophy of basolateral amygdala neurons
2	藤田洋輔	広島大学 精神神経医科学	Vorinostat, a Histone Deacetylase Inhibitor, Facilitates Fear Extinction by Enhancing the Gene Expression of Hippocampal NR2B-Containing NMDA Receptor
3	古関竹直	名城大学 薬品作用学	Enriched environment in adolescent prevents abnormal behavior associated with histone deacetylation in phencyclidine-treated mice
4	日道俊之	京都大学教育学	COMT Val 158 Met gene polymorphism influences the perception of other's pain
5	縄田陽子	長崎国際大学 薬理学研究室	Improvement of cognitive impairments on withdrawal after repeated methamphetamine by administration of a cannabinoid CB1 receptor antagonist and a COX inhibitor
6	梶谷直人	広島大学 薬効解析学	The increase of FGF-2 expression by amitriptyline and noradrenaline could be mediated different mechanisms in rat primary cultured astrocytes
7	山田麻記子	久留米大学 薬理学	Dorsal raphe nucleus serotonin neurons in WKY rats demonstrates subresponsivity to an acute application of escitalopram: effect of repeated escitalopram treatment
8	野上 愛	福岡大学臨床 疾患薬理学	Effect of Toki, a component of Yokukansan, on memory disturbance in animal model of cerebrovascular dementia
9	嶋田政史	東北大学精神・ 神経生物学分野	Additive suppressive effects of d-opioid agonist KNT-127 pretreatment and μ -opioid receptor deletion on responses to forced swim stress
10	山口 拓	長崎国際大学 薬理学	Liposome-encapsulated hemoglobin ameliorates brain dysfunction after transient cerebral ischemia in rats
11	肥田裕丈	名城大学 病態解析学 I	Combination of a Neonatal Viral Infection with an Adolescent Substance Use Affect Psychological Function in Adult
12	高塩 理	昭和大学 精神医学	An Analysis of Pharmacotherapy Combined Cognitive-Behavioral Group Therapy for Panic Disorder with Agoraphobia
13	松本友里恵	名古屋大学 精神医学	Vulnerability to rearing environmental changes in early life plays a crucial role in the

			aetiopathology of psychiatric disorders
14	葛山貴弥	金沢大学 薬物学	Artificial Orchestration of Functional NMDAR Channels in HEK293 Cells
15	尹 在錫	名古屋大学 医療薬学	The role of Npas4 in neurite outgrowth and phosphorylation of synapsin I
16	川田浩一	千葉科学大学 薬理学	Influence of tunicamycin-induced endoplasmic reticulum stress on the regulation of neuronal differentiation
17	平松直樹	大阪大学 薬学研究科	Involvement of 5-HT1A receptors in fluvoxamine-induced enhancement of prefrontal dopamine release
18	家垣典幸	富山大学 薬物治療学	Overexpressions of “shati” in the dorsal striatum or nucleus accumbens affect emotional behaviors in mice
19	齊鹿絵里子	富山大学 薬物治療学	Role of a novel molecule “shati” in animal model of dystonia
20	芝 達雄	摂南大学 薬理学	Involvement of Ca ²⁺ channels in proliferation of neural stem/progenitor cells derived from the subventricular zone of adult mice

3. 学会賞のあり方についての検討を進めており、年会期間中に委員会を開催し、方針について結論を出す予定であることが報告された。

f. 長期計画委員会（石郷岡理事）

資料に基づき、統合問題に関する状況報告がなされた。

- 1) 平成 23 年 10 月 3 日付けにて、CNP 理事長の兼子 直先生宛に合併に関する要望書を提出した。
- 2) 手続に際しては合併契約書（弁護士作成）を取り交わすこと、NP は任意団体であり、CNP は法人化していることから手続上は NP が CNP に吸収される形となること。CNP 側には定款変更を依頼し、NP 会員の無条件入会など了解を得ること、CNP 側の議論にもよるが、2013 年の沖縄での合同大会が最初の統一年会としたいとのロードマップが提示された。

h. 研究推進委員会（曾良理事）

報告事項は特になし。

i. 倫理委員会（中村理事欠席のため山脇理事長から報告）

資料に基づき、以下の報告がなされた。

倫理委員会では、現在の当会倫理規程の確認と現状に則した改訂の必要性についてメールでの持ち回り委員会を開催した。

- 1) 本学会の倫理規程は、2006 年 9 月 6 日の第 38 回理事会で添付資料のように承認されている。日本精神神経学会の利益相反委員会から提出された規程が同学会の理事会で承認され、今年は施行期間となっている。本学会もこの規程にそった COI 規程を確立する必要があるとの意見があった。また、規定の確立については、当会独自で新たに規程を作成しなくても、日本精神神経学会に沿って行えばよいとの意見が大半であった。
- 2) さらに、日本生物学的精神医学会でまず討議され、現在日本精神神経学会で検討中の精神疾患脳バンクの倫理規程（尾崎紀夫教授担当）の動向もみて、今後はこの規程も倫理規程に加えることを検討している。

4. CINP/ACNP/ECNP/AsCNP 報告（山脇理事長）

資料に基づき、以下の報告がなされた。

- 1) CINP 報告…AsCNP2011 時に CINP への入会申込書を配布した。また、評議員および AsCNP 参

加者へもメール配信による入会案内を行った。CINP では選挙手続もあり、11 月末までになるべく多くの会員に入会してもらいたいとの協力要請がなされた。

2) ECNP 報告…2011 年 9 月 3 日にフランスで開催された会議報告がなされた。

3) ACNP 報告…2011 年 12 月 4 日 - 8 日にハワイにて ACNP50th Anniversary Meeting が開催される。日本からは 10 名の参加枠が提示され、以下の先生の参加を通知した。

(1) 斎藤利和 (札幌医科大学) Toshikazu Saito, M.D., Ph.D.

(2) 橋本 均 (大阪大学) Hitoshi Hashimoto, Ph.D.

(3) 岡本泰昌 (広島大学) Yasumasa Okamoto, M.D., Ph.D.

(4) 橋本亮太 (大阪大学) Ryota Hashimoto, M.D., Ph.D.

(5) 功刀 浩 (国立精神・神経医療研究センター) Hiroshi Kunugi, MD, PhD

(6) 池田和隆 (東京都医学総合研究所) Kazutaka Ikeda, PhD

(7) 曾良一郎 (東北大学) Ichiro Sora, MD, PhD

(8) 吉岡充弘 (北海道大学) Mitsuhiro Yoshioka, M.D., Ph.D.

(9) 鶴飼 渉 (札幌医科大学) Wataru Ukai, Ph.D.

(10) 須原哲也 (放射線医学総合研究所) Suhara Tetsuya, MD, PhD

4) AsCNP 報告…セントラルオフィスについては、日本に設置することが承認された。日本の分担金は 200 万円となる予定のため、NP・CNP でそれぞれ 100 万円を負担することが確認された。

5. 第 42 回年会 (第 22 回日本臨床精神神経薬理学会と合同開催) 準備状況報告

石郷岡次期会長から以下の通り年会準備状況について報告がなされた。

日時: 2012 年 10 月 18 日 (木) ~ 20 日 (土) (10 月 17 日 (水) は理事会・各委員会開催予定)

会場: 栃木県総合文化センター・宇都宮東武ホテルグランデ

会長: 石郷岡純 (東京女子医科大学医学部精神医学教室・主任教授)

第 22 回日本臨床精神神経薬理学会 (下田和孝 CNP 次期会長) と合同開催

6. 第 43 回年会 (第 23 回日本臨床精神神経薬理学会と合同開催) 準備状況報告

仲田次々期会長から以下の通り年会準備状況について報告がなされた。

日時: 2013 年 10 月 24 日 (木) ~ 26 日 (土) (10 月 23 日 (水) は理事会・各委員会開催予定)

会場: 沖縄コンベンションセンター

会長: 仲田義啓 (広島大学医歯薬学総合研究科薬学専攻医療薬学講座・教授)

第 23 回日本臨床精神神経薬理学会 (近藤 毅 CNP 次々期会長) と合同開催

II. 審議事項

1. 2012 年度予算案の件 (大熊理事)

昨年より年会補助金を 80 万円へ増額しており、2012 年度も同額を計上した。また、委員会活動の活性化から、会議費および事務委託費を増額した。同年度は会員名簿作成・印刷費の執行年度であるため、30 万円を計上した。以上の予算案が提出され原案のとおり承認された。

2. 次々々期会長の選出 (山脇理事長)

2014 年の会長については、CNP との統合問題もあるため、現状を確認しながら継続審議とした。

3. 新評議員推薦の件 (池田理事)

以下の 2 名が推薦されており、審議の結果、評議員として委嘱することが承認された。

亀井浩行 (名城大学薬学部病院薬学研究室)

川辺光一 (大阪市立大学大学院文学研究科)

4. 名誉会員推戴の件（池田理事）

前回の理事会において推薦細則を改定し、70歳から65歳へ変更した。推薦資格を有する先生方へ名誉会員の移行希望について伺い、5名の先生方から快諾を得たので、評議員会／総会へ推戴候補者として諮ることが報告された。

岩崎庸男先生，小川紀雄先生，田中正敏先生，野村靖幸先生，鍋島俊隆先生

5. 功労会員推戴の件（池田理事）

前回の理事会の決定事項に従い、推薦資格を有する先生方へ功労会員の移行希望について伺い、13名の先生方から快諾を得、評議員会／総会へ推戴候補者として諮ることが報告された。

兼子 直先生，上島国利先生，佐藤公道先生，澁谷治男先生，只野 武先生，
中河原通夫先生，中根允文先生，藤井恵美子先生，町山幸輝先生，丸山悠司先生
山口成良先生，山田勝士先生，山田通夫先生

6. 新入会希望者承認の件（池田理事）

本年5月30日から10月13日までに67名の入会申込者があったことが報告され、全員が承認された。

以上

平成23年10月26日（水）

日本神経精神薬理学会
理事長 山脇 成人